

1. 計画の背景と目的

私たちの故郷、三重県南部地域は、熊野灘に面した雄大な海岸線、温暖な気候、紀伊山地の山並みなど、豊かな自然環境に恵まれているほか、熊野古道をはじめとする「みち」にかかわる歴史・文化資源が豊富に残っており、日本の原風景ともいえる地域です。

そして、平成16年7月には、熊野古道「伊勢路」が世界遺産に登録され、県内外や広く海外からも注目されています。

さらに、平成25年の伊勢神宮御遷宮を控え、「伊勢へ七度、熊野へ三度」と詠われたように伊勢参りと合わせて熊野詣をする人が多く見込まれることから、地域資源を活かした観光振興策として、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による「美しい道づくり」と「地域づくり」が求められているところです。

そのため私たちは、伊勢から熊野へとつづく、江戸時代に培われた旅人へのもてなしのみち熊野古道「伊勢路」の復古・再生をイメージし、地域住民と行政の協働のもと、紀伊半島における環境の保全と自然・歴史・文化的資源の活用により、熊野古道を主体に巡る「ウォーキングルート」とそれらを結ぶ「ドライブルート」を文化的景観の保全と創出に配慮しながら修景していくとともに、「癒しの原風景」や「もてなしの心」が感じられる交流空間を創造し、全国に発信していくことを目的に、日本風景街道「伊勢熊野みち」に取り組んでいます。

そこで、私たちは、訪れる人が魅力を感じ、地元の人が誇りを持つきっかけとするとともに、推進協議会に参加する各々の団体の連携による広く充実した取組を行うため、これまでとこれからの取組をとりまとめ、活動計画を策定しました。



丸山千枚田より、和歌山・奈良方面の山々を望む

■ 私たちの地域の魅力・誇り

私たちの暮らす三重県南部地域は、素晴らしい地域の魅力と誇りにあふれています。

例えば、海、山、川などの豊かな自然に囲まれ、固有の歴史文化を持ち、特徴的な生活文化を大切に保全しています。また、地域の魅力を高め、来訪者をもてなす取組が実施されています。

○豊かな自然（海、山、川など）

私たちの地域には、黒潮流れる熊野灘と奥深い山々、険しい谷を流れる川などの日本の原風景と呼べる景観があります。



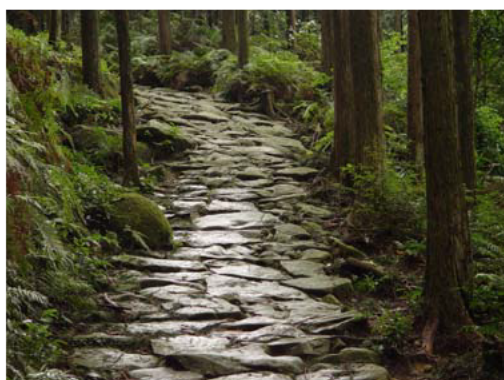
◆ 熊野灘（七里御浜）



◆ 大内山川※1

○固有の歴史文化（熊野古道、川舟など）

私たちの地域には、世界遺産熊野古道「伊勢路」や川の参詣道である「熊野川」などの歴史文化の資源があります。



◆ 熊野古道（馬越峠）



◆ 熊野川（川舟）

※1 写真提供：伊勢志摩きらり千選HP

これらの魅力や誇りを守り、育て、そして全国へ発信していくことが風景街道「伊勢熊野みち」の持つ役割でもあります。

○特徴的な生活文化（千枚田、漁港など）

私たちの地域には、農業や漁業などの第一次産業を基盤とした生活文化の資源があります。



◆ 丸山千枚田



◆ 須賀利漁港

○地域の魅力を高め、来訪者をもてなす取組（私たちの活動など）

私たちの地域では、各地で来訪者をもてなすための地域活動が実行されています。



◆ 国道沿いの花の管理



◆ まち歩き体験